

## 交付運用報告書

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは主として中国の株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBS  
中国株式ファンド

追加型投信／海外／株式

第16期（決算日2023年5月8日）  
作成対象期間（2022年5月10日～2023年5月8日）

第16期末（2023年5月8日）	
基準価額	16,060円
純資産総額	7,831百万円
騰落率*	3.1%
分配金合計	1,000円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー  
<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2023。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

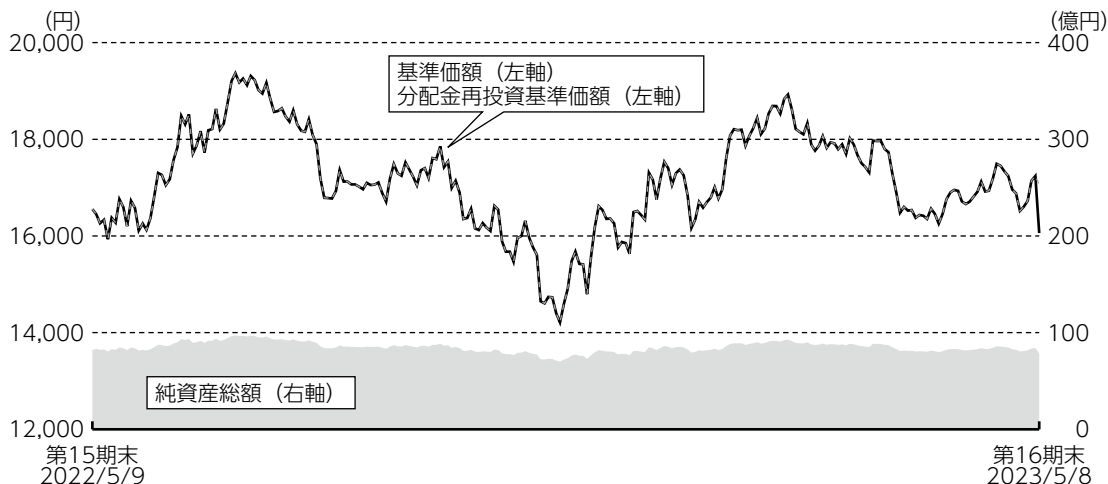
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2022年5月9日～2023年5月8日)



第16期首：16,555円

第16期末：16,060円 (既払分配金 1,000円)

騰落率： 3.1% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は既払分配金1,000円 (税引前) 込みで、505円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率 (分配金再投資ベース) は+3.1%となりました。

## 基準価額の変動要因

当期の基準価額の上昇要因は、組入れていたマザーファンド受益証券が値上がりしたことです。

当期のマザーファンド受益証券の基準価額は、投資先ファンドにおける組入株式の株価の上昇や、為替 (対円で人民元は前期末比でほぼ横ばいとなったものの、米ドル高、香港ドル高) などのプラス要因がその他のマイナスの要因を上回ったため、値上がりしました。

## 1万口当たりの費用明細

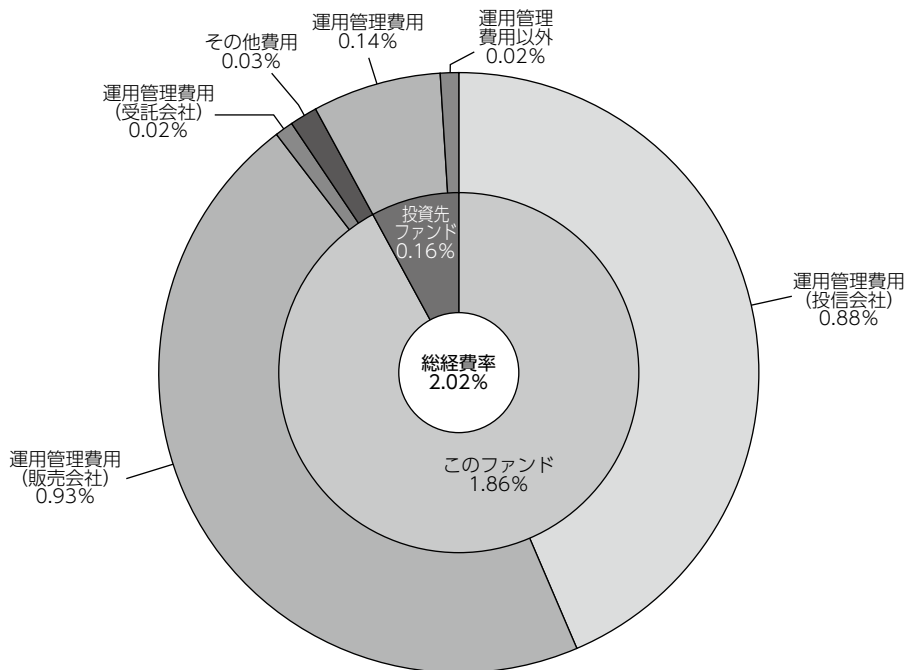
項目	当期 2022/5/10~2023/5/8		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	313円	1.834%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は17,048円です。
（投信会社）	(150)	(0.878)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(159)	(0.932)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 4)	(0.024)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	5	0.027	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	( 2)	(0.013)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	( 2)	(0.013)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	( 0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	318	1.861	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報) 総経費率



<b>総経費率 (①+②+③)</b>	<b>2.02%</b>
①このファンドの費用の比率	1.86%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年5月7日～2023年5月8日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2018年5月7日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年5月7日 期初	2019年5月7日 決算日	2020年5月7日 決算日	2021年5月7日 決算日	2022年5月9日 決算日	2023年5月8日 決算日
基準価額 (円)	18,891	18,680	18,392	22,951	16,555	16,060
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.2	3.8	30.2	△ 23.5	3.1
純資産総額 (百万円)	13,784	12,895	10,877	12,901	8,231	7,831

(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

※当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数 (参考指数) はありません。

## 投資環境について

## 中国株式市場

当期の中国株式市場は小幅に上昇しました。

期の序盤、政府・当局が相次いで景気浮揚策を打ち出したことや、中国人民銀行（中央銀行）による緩和的な金融政策などが好感され、株式市場は上昇しました。期中盤、主要国での利上げ加速の動きとそれに伴う世界経済の後退観測、また、国内では政府による「ゼロコロナ」政策の長期化と経済の下振れ懸念、不動産セクターの低迷などが重石となり、相場は下落に転じました。その後、10月に発足した新指導部が「ゼロコロナ」政策や不動産規制を緩和すると、経済活動再開と景気回復期待から年明けにかけて急上昇しました。しかし2月以降は、中国の気球を米国が撃墜したことで、両国間の緊張が高まったほか、米利上げ長期化懸念と欧米での金融システム不安などが嫌気されて、株式市場は軟調に推移し、それまでの上昇分の多くを失いましたが、期初の水準を小幅に上回って期を終えました。

## 為替レートの推移



\* 期首を100として指数化

## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、UBS中国株式マザーファンドが投資する証券投資信託への投資を通じて、実質的に中国の株式に投資を行いました。なお、マザーファンド受益証券の組入れは、期を通じて高位を維持しました。

### UBS中国株式マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）およびUBS（Lux）インベストメント・シキャプーチャイナAオポテュニティ（USD）を主要投資対象として、実質的に中国の株式に投資を行いました。なお、UBS（Lux）インベストメント・シキャプーチャイナAオポテュニティ（USD）への投資比率は信託財産の純資産総額の50%以内としました。

### UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

当ファンドは、主に香港証券取引所、上海証券取引所、深セン証券取引所に上場されている株式で、上海証券取引所、深セン証券取引所のA株を除く中国企業株式に投資を行いました。

#### ●期中の主な動き

##### (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

金融では、当局による「ゼロコロナ」政策の転換とそれに伴う経済正常化の進展、および不動産規制の緩和から、営業面（対面営業の再開）、運用面（資産運用収益の改善期待）などで多大な恩恵の享受が見込まれる保険大手の中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）のほか、ファイナンスリース業務（顧客が選んだ機械や設備などを購入して貸し出す）を主力とする遠東宏信（ファーイースト・ホライズン）のウェイト積み増しを通じて、セクターウェイトを引き上げました。またヘルスケアでは、静脈輸液を主力とする製薬会社の石四薬集団（エスエスワイ・グループ）のウェイト積み増しにより、同じくセクターウェイトを引き上げています。

##### (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

コミュニケーション・サービスでは、クラウド関連事業が好調となったことなどから株価が急騰したオフィスソフトとオンラインゲームの金山軟件（キングソフト）や、当局によるオンラインゲームへの規制強化に対する警戒感などから、動画配信の哔哩哔哩（ビリビリ）をそれぞれ全売却し、ウェイトを引き下げました。また不動産では、規制強化が株価の重荷となる時間帯が続くとみて、不動産サービスの時代隣里（タイムズ・ネイバーフッド）を全売却としたほか、不動産開発大手の中国金茂（チャイナ・ジンマオ）のウェイトの縮小により、セクターウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

UBS (Lux) インベストメント・シキャプーチャイナAオポチュニティ (USD) のポートフォリオについて  
当ファンドは、主に上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株に投資を行いました。

### ●期中の主な動き

#### (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

一般消費財・サービスでは、継続的な株価下落などを背景に投資妙味が高まったと判断した自動車用ガラスを主力とする福耀玻璃工業集団（フォーオガラス・インダストリー・グループ）の新規組み入れにより、セクターウェイトを引き上げました。

#### (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

情報技術では、米アップルの主要サプライヤーの1つである立訊精密工業（ラックスシェア・プレシジョン・インダストリー）について、昨年終盤から今年序盤の上昇局面で売却を進めたほか、過剰供給に伴う製品価格の下落懸念が強まった太陽電池メーカーの隆基緑能科技（ロンジ・グリーン・エナジー・テクノロジー）についても全売却したことなどにより、セクターウェイトを引き下げました。

コミュニケーション・サービスについても、11月以降の株価急反発局面をとらえて、オンラインゲーム開発大手の網易（ネットイーズ）と騰訊（テンセント・ホールディングス）をそれぞれ一部売却したことにより、セクターウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

### ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ベンチマーク対比の運用ではなく、アクティブ度の高い運用を行う方針であることから、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

### 分配金について

市況動向等を勘案し、当期の分配金は1,000円（税引前）とさせていただきます。分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。

#### 分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第16期
	2022年5月10日~2023年5月8日
当期分配金	1,000円
(対基準価額比率)	( 5.862%)
当期の収益	-円
当期の収益以外	1,000円
翌期繰越分配対象額	10,052円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

中国株式市場は、2022年11月以降急速に進んだ経済活動の再開にけん引されて力強く上昇してきましたが、ここ数カ月間は失速しています。経済状況に関しては、サービス部門では、娯楽・接客業などで著しい回復が示されていますが、不動産市場の低迷や高水準の失業率などが足かせとなり、消費の回復力は抑制的なものにとどまっています。また、製造業に関しては、足元の購買担当者景気指数（PMI）において改善ペースの鈍化が見られます。今後の焦点は、中国経済の回復の持続性にあると思われ、投資家はPMIや不動産販売などの指標動向のほか、企業収益の伸びおよび見通しなどといった企業のファンダメンタルズに注目するものと考えられます。

他方、地政学的リスク（米中関係の緊張の高まり）は、今後も市場のボラティリティを高める要因になると考えます。

現在、米中関係は不安定化しており、両国の対立は今後も続くことが予想されます。しかし、中国が世界の市場と密接につながっていることを考えると、米中関係が完全に分断される可能性は極めて低いと思われれます。

昨年終盤以降、株価は大きく反発しましたが、中国株式のバリュエーションは依然として魅力的な水準にあると思われれます。中国株式市場はアクティブ運用の観点で、引き続き大きな投資機会を有していると考えています。

当ファンドでは、競争優位性があり、質が良好であると判断する企業を中心に保有しています。このため、長期的にみると市場参加者の関心が企業のファンダメンタルズとキャッシュフロー創出力に回帰すれば、こうした企業への投資が当ファンドに良好なりターンをもたらすものと考えております。

### 当ファンドの今後の運用方針

UBS中国株式マザーファンドの投資比率を高位に維持する方針です。

### UBS中国株式マザーファンドの今後の運用方針

UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）およびUBS（Lux）インベストメント・シキャブーチャイナAオポテュニティ（USD）を主要投資対象とし、UBS（Lux）インベストメント・シキャブーチャイナAオポテュニティ（USD）への投資比率を信託財産の純資産総額の50%以内となるよう運用します。

### UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）およびUBS（Lux）インベストメント・シキャブーチャイナAオポテュニティ（USD）の今後の運用方針

ボトムアップアプローチによる銘柄選択を行い、中国経済の構造改革の恩恵を受けて長期的な成長が期待される銘柄を重視した運用を続けてまいります。

## お知らせ

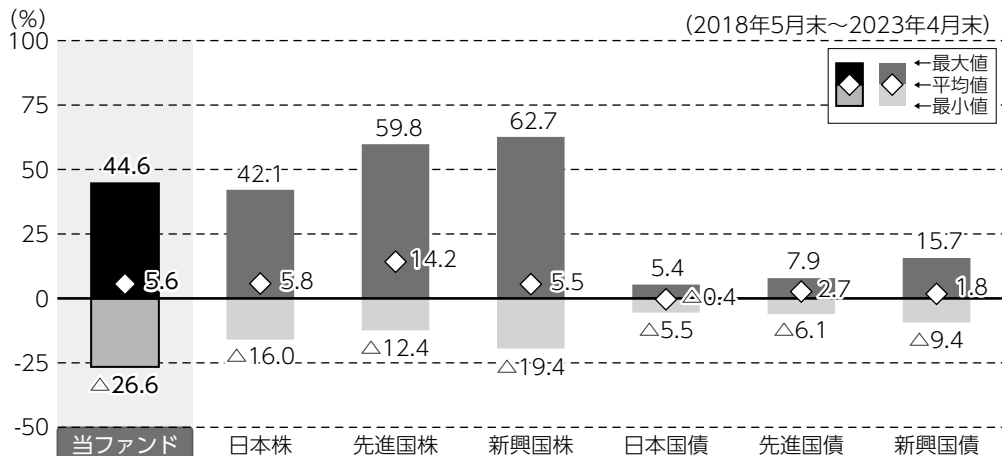
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	信託設定日（2007年5月8日）から無期限とします。		
運用方針	マザーファンドが投資する投資信託証券への投資を通じて、主として中国の株式に実質的に投資するものとします。		
主要投資対象	ベビーファンド ＜UBS中国株式 ファンド＞	UBS中国株式マザーファンドを主要投資対象とします。	
	マザーファンド ＜UBS中国株式マ ザーファンド＞	UBS (Lux) インベストメント・シキャプーチャイナ Aオポチュニティ (USD)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とします。
		UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）	上海証券取引所、深セン証券取引所、香港証券取引所の上場銘柄（A株を除きます。）を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド ＜UBS中国株式 ファンド＞	主として中国の株式に実質的に投資します。	
	マザーファンド ＜UBS中国株式マ ザーファンド＞	主として中国の株式に実質的に投資します。 中国の株式として、上海証券取引所（A株およびB株）、深セン証券取引所（A株およびB株）および香港取引決済所の上場銘柄を含みます。 中国A株への投資比率はファンドの信託財産の純資産総額の50%を超えないものとします。 原則として為替ヘッジは行いません。	
		UBS (Lux) インベストメント・シキャプーチャイナ Aオポチュニティ (USD)	株式の組入比率は、原則として高位を維持します。
	UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）	株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 UBSアセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
分配方針	毎決算時（原則毎年5月7日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、委託者が基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。		

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- \* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- \* 2018年5月から2023年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- \* 騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- \* 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

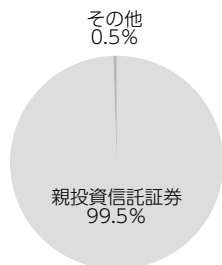
(2023年5月8日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：1銘柄）

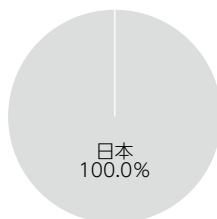
銘柄	比率 (%)
UBS中国株式マザーファンド	99.5

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

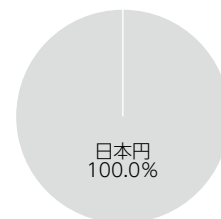
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

### 純資産等

項目	第16期末 2023年5月8日
純資産総額	7,831,733,198円
受益権総口数	4,876,428,622口
1万口当たり基準価額	16,060円

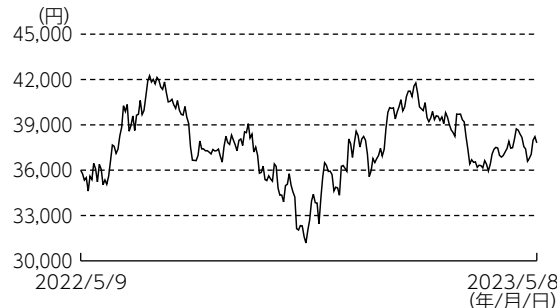
(注) 当期（第16期）中における追加設定元本額は307,923,937円、同解約元本額は403,323,374円です。

(2023年5月8日現在)

## 組入上位ファンドの概要

## ◆UBS中国株式マザーファンド

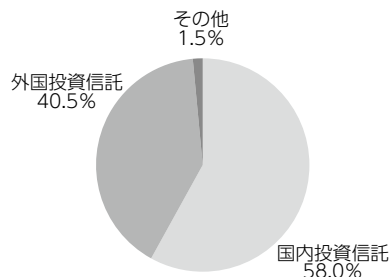
基準価額の推移 (2022年5月9日～2023年5月8日)



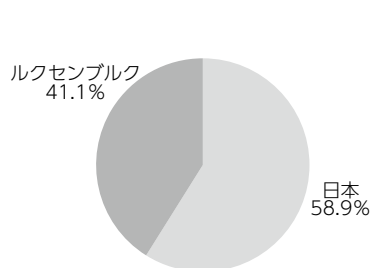
組入上位ファンド (銘柄数：2銘柄)

銘柄名	比率(%)
UBS中国株式 (除くA株) ファンド (適格機関投資家向け)	58.0
UBS (Lux) インベストメント・シキャプー チャイナAオポチュニティ (USD)	40.5

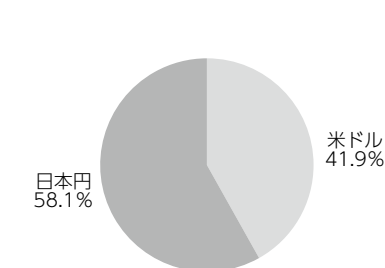
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



(注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。

(注4) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「運用報告書 (全体版)」をご覧ください。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/5/10~2023/5/8	
	金額	比率
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

※期中の平均基準価額は37,442円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

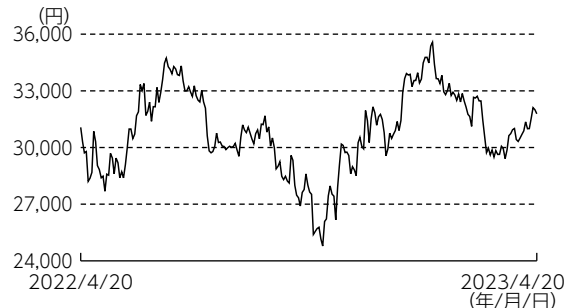
※当マザーファンドの運用経過につきましては、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。

(2023年4月20日現在)

## マザーファンドの組入上位ファンドの概要

## ◆UBS中国株式（除くA株）ファンド（適格機関投資家向け）

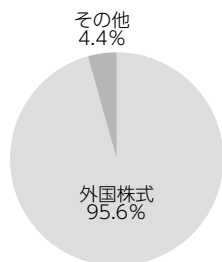
基準価額の推移 (2022年4月20日～2023年4月20日)



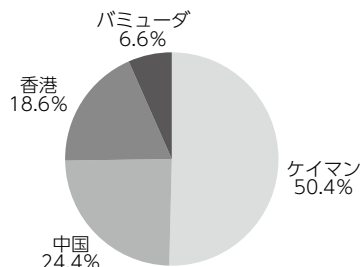
組入上位10銘柄 (銘柄数：29銘柄)

銘柄名	業種	国/地域	比率(%)
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	中国	9.5
TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	ケイマン	9.0
NETEASE INC	メディア・娯楽	ケイマン	8.6
CHINA MERCHANTS BANK-H	銀行	中国	8.1
CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LT	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	香港	6.7
FAR EAST HORIZON LTD	金融サービス	香港	6.5
SHENZHEN INTL HOLDINGS	運輸	バミューダ	6.1
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス流通・小売り	ケイマン	5.8
SSY GROUP LTD	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ケイマン	4.7
CHINA RESOURCES LAND LTD	不動産管理・開発	ケイマン	4.0

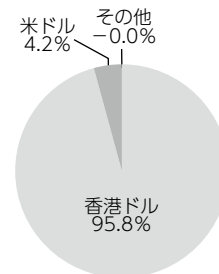
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 上記のポートフォリオの内容は、組入れられたファンドの投資資産を表示しております。なお、直接投資しているのはマザーファンドですが、「組入上位銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はその先の投資資産を表示しております。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2022/4/21~2023/4/20	
	金額	比率
信託報酬	24円	0.077%
(投信会社)	(17)	(0.055)
(販売会社)	( 1)	(0.002)
(受託会社)	( 6)	(0.020)
売買委託手数料	3	0.010
(株式)	( 3)	(0.010)
有価証券取引税	3	0.011
(株式)	( 3)	(0.011)
その他費用	10	0.034
(保管費用)	(10)	(0.033)
(その他)	( 0)	(0.001)
合計	40	0.132

※期中の平均基準価額は30,600円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、直近の計算期間のもので、費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

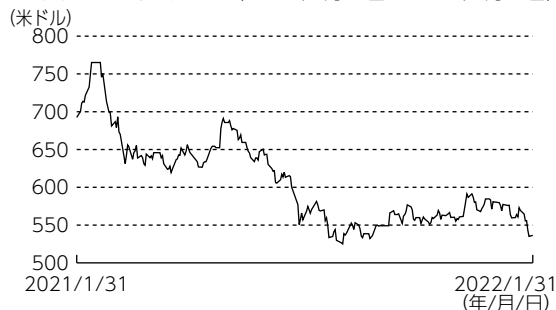


## マザーファンドの組入上位ファンドの概要

(2022年1月31日現在)

## ◆UBS (Lux) インベストメント・シキャプーチャイナAオポチュニティ (USD)

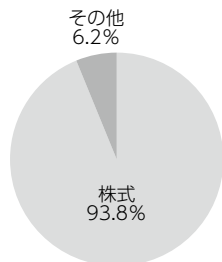
基準価額の推移 (2021年1月31日～2022年1月31日)



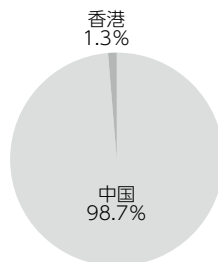
組入上位10銘柄 (銘柄数合計: 33銘柄)

銘柄名	国/地域	比率(%)
KWEICHOW MOUTAI 'A' CNY1	中国	9.7
YUNNAN BAIYAO GRP 'A' CNY1	中国	8.5
CHINA MERCHANTS BK 'A' CNY1	中国	7.4
YIBIN WULIANGYE 'A' CNY1	中国	6.2
JIANGSU HENGRUI ME 'A' CNY1	中国	5.0
PING AN INSURANCE 'A' CNY1	中国	4.9
MIDEA GROUP CO LTD CNY1	中国	4.9
I/MONGOLIA YILI IN 'A' CNY1	中国	4.9
PING AN BANK CO LT 'A' CNY1	中国	4.8
LUXSHARE PRECISION 'A' CNY1	中国	4.4

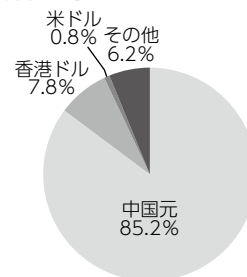
## 資産別配分



## 国・地域別配分



## 通貨別配分



- (注1) 「基準価額の推移」は組入ファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」は組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は組入ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は組入ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
- (注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。
- (注4) 「通貨別配分」はポートフォリオ部分について表示しており、預金およびその他資産（負債控除後）は「その他」に含めて表示しております。
- (注5) 上記のポートフォリオの内容は、監査済みアニュアルレポートの情報に基づき作成しています。

## 1万口当たりの費用明細

当該情報は開示されていないため、記載しておりません。